

(別記)

2019 年度多良木町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、熊本県の南東に位置し、南部と北部は九州山脈の山林原野で全体面積の80%が森林に覆われる中山間地域である。

圃場整備が行われた水田には、水稻をはじめとしてメロン・キュウリ・イチゴ等の施設園芸作物やたばこ等が栽培される一方、山間地域では、高齢化や後継者の流出が進み、土地条件もよくないことから、不作付水田が増加している。地域全体としても高齢化・兼業化が進んでおり、農業・農地を維持する担い手不足が懸念されている。

2 作物ごとの取組方針等

町内の約 1,389ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、メロン、キュウリ、イチゴ、ナスを転作作物の主体として位置付け、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

また、産地交付金を活用して二毛作を推進する。

(1) 主食用米

多良木町の主軸となる作物であり、需要に応じた良食味米の計画的な生産・販売トレーサビリティシステムの確立、減農薬栽培による消費者の安心安全志向へ対応した栽培を推進する。

網目の統一、整粒歩合の向上等で品質の向上を図り、売れる米づくりの基盤を確立する。

作作品種はヒノヒカリが中心であるが、収穫適期が短いため、作期の分散・優良な晩期品種の導入を検討する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米と同じ農業機械や既存施設で取り組める転作作物であることから、産地交付金追加配分の多収品種の取組加算等を活用しながら生産拡大に取り組む。

イ WCS 用稲

WCS 用稲を作付することで、産地交付金を活用して耕種農家と畜産農家の連携に伴う資源循環を推進する。

また、戦略作物に位置付けられていることから、二毛作の推進にも繋がる。

ウ 加工用米

焼酎のブランド化を図るため、焼酎原料用米として多収品種（たちはるか）に限定し、高付加価値化を目指している。

また、安定的な供給を続けるために地元加工業者（蔵元等）との連携による加工・販売を推進し、高品質な生産物の安定的な供給に取り組む。

(3) 麦、大豆、飼料作物

土作り・排水対策等の基本技術の励行、新技術の導入、機械の有効利用による品質・生産性の向上を図る。

病虫害対策は防除適期の一斉防効果を高め、効率のよい防除となるよう指導する。

特に、麦については実需者の要望に応じた栽培とし、醸造適正に優れた「はるしづく」の作付を推進し、カントリーエレベーターを利用したバラ出荷を中心とする。

また、品質分析により高タンパク化へ向けた栽培技術の確立を図る。

大豆は熊本県の方針に基づいた品種の作付とし、系統販売による契約栽培とする。

飼料作物については、主に自家家畜への給与のための作付けとなっており作付面積を維持する。

また、産地交付金を活用して二毛作及び資源循環を推進する。

(4) そば、なたね

産地交付金を活用して生産量を安定させるための排水対策の取組を支援し、現行の栽培面積を維持する。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

産地交付金を活用して、野菜等への支援を行いながら、今後作付面積の維持・拡大を図る。

特に野菜については、安定生産・品質向上を図るための確かな作型の推進と、エコファーマー認証制度による安心安全な農産物を供給する。

また、市場研修・販売促進により、消費者のニーズにあった農産物生産を図る。さらに、補助事業を活用した施設整備を行うとともに、販路については契約取引・相対取引の拡大による消費地との結びつきの強化を行い、産地のブランド化・出荷経費の削減へとつなげる。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付実績 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	636ha 3,212t	647ha 3,241t	647ha 3,241t
飼料用米（多）	2.1	6.0	10.0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	371.6	373.0	375.0
加工用米	7.1	8.0	10.0
備蓄米	0	0	0
麦	89.1	90.0	95.0
大豆	5.4	5.0	5.0
飼料作物	261.4	264.0	264.0
そば	0.3	0.1	0.1
なたね	0.6	0	0
野菜	94.0	100.0	105.0
花き・花木	4.1	5.4	5.5
果樹	26.8	26.8	26.8
雑穀	0.9	1.5	1.5
その他（たばこ）	109.9	111.0	111.0
その他（三島紫胡）	7.6	8.5	10.0
その他（小豆）	1.7	1.0	1.0
その他（こしょう）	0.2	0.2	0.2

※主食用米の目標値（H31～33）において使用した単収は 501kg/10 a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2018年度	2020年度
1	加工用米	焼酎原料米への 助成 (基幹・二毛作)	取組面積	6.8ha	10ha
			単収（10aあたり）	631kg	600kg
2	麦	麦担い手加算 (基幹・二毛作)	取組面積	86.1ha	95ha
			単収（10aあたり）	168kg	300kg
3	麦 飼料作物 加工用米 WCS用稲 なたね	二毛作助成 (二毛作)	取組面積	284ha	(308ha) 319ha
			水田利用率	40.9%	46%
4	飼料作物 WCS用稲	資源循環の取組 (耕畜連携・基 幹・二毛作)	実施面積	295.9ha	298ha
			還元率	46.7%	46%
5	多良木町特定指定作物・ 地域振興作物	高収益作物への 助成（基幹）	特定指定作物取組面積	52.9ha	63ha
6			地域振興策作物取組面積	5.1ha	11ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。（目標値の上段括弧書きは変更前の数字。）